

ロータリーはみんなを幸せにする

IMAGINE ROTARY

——— 2023年3月15日 第2,600回 No.2,306号 ———

会長：千野 貴文 ・ 幹事：倉石 智典 ・ 会員サービス委員長：神津 富治男
E-mail：neast-rc@dia.janis.or.jp

《ロータリーソング》

- それでこそロータリー

《ゲスト紹介》

- 長野東ローターアクトクラブ
会長 山本 千尋様

《会長報告》

- 今日の例会は区切りの良い第2600回という事です。大変な回数で、56年余り、積み重ねた先達の歩みに敬意を表する次第です。また、当クラブは国際ロータリー第2600地区に属していて、同じ数字となりました。そのような節目にあたり、地区の歴史にスポットをあてた報告を致したいと思えます。1912年、国際ロータリーは、世界を8部門に分けました。これが地区の起源でございます。日本の元号ならば大正元年の出来事です。当時は番号ではなく、例えばカナダ西部部門といったように地域名にしていました。その3年後「部門」を「地区」という呼び名に変更して番号を名称とするようになりました。ロンドンだけで1地区だった一方、カナダの一部、アラスカ、ロシアのシベリア全域を1地区とするところもあり、ガバナーが移動に3日かかったという記録が残っているとのことです。1928年、日本国内が単独で第70地区に設定されました。これが昭和3年の出来事です。その後、太平洋戦争による国際ロータリーからの脱退やクラブの解散はあったものの、戦後はクラブの増加に応じて、徐々に

日本国内で地区は分割されました。現在、日本国内は34地区で構成されています。長野県のクラブは、1957年（昭和32年）7月に編成された第360区に名前を連ねていました。一緒に属していたのは、愛知、岐阜、石川、富山でした。当クラブが誕生する10年前の状況です。当初は静岡も含まれており、それより前になりますと第60区から分割された第62区に入っていて、神奈川も一緒でした。当クラブは、1966年から1967年（昭和41年から42年）にかけて、創立及び国際ロータリーの認証手続きを行ったのですが、ちょうどその年度の境目で第360区は愛知と長野だけに編成替えされました。当クラブは東北信分区に属し、1976年までに9クラブで構成されるようになりました。分区は、現在の第2600地区のブロックに相当しますが、他の地区では現在も分区を用いている地区が複数あります。その後1977年（昭和52年）7月に愛知と分割され、長野県だけで編成する第260区となりました。当クラブが出来て10年後の事です。愛知と一緒にあった第360区最後のガバナーは、当クラブが輩出した故塚田和男先輩でした。そして、14年後の1991年（平成3年）7月に地区の名称が変更されて、第2600地区となりました。以降32年程経過し、現在に至っています。地区とクラブの歴史を少しだけ巡ってみました。当時の雰囲気を感じ取って頂けたならば幸いです。

《幹事報告》

- 先般ご案内した書き損じはがき回収運動ですが、おかげ様で69枚のはがきをご寄付いただきました。切手に交換して送らせていただきました。ご協力ありがとうございました。
- 次週22日の例会は、祝日のある週のため休会となりますので、お間違いのないようよろしくお願いいたします。
- 例会変更のお知らせ
長野北東RC 4月17日(月)創立記念例会のため、時間と場所を変更いたします。
*定刻受付をいたします。

《出席報告》

本日	出席	欠席	出席率
会員数54名	29名	25名	53.70%
前々回 3月1日		訂正出席率	70.00%

《ニコニコボックス》

- 在籍賞：奥山 哲君、中澤 勝君
- マスクを外して良い！と言われても私は、「しばらくの間」マスク着用します。でも、「しばらく」っていつまで？
横田 一尊君
 - あたたかいですね。インフルとコロナ、花粉症に油断せずご自愛下さい。
佐藤 忠幸君
 - 卓話させていただきます。よろしくお願いいたします。
棚橋 裕弥君

《本日のプログラム》

- 会員卓話 棚橋 裕弥君
「地域活性化に向けた
NTT東日本グループの取組み」



《3月29日のプログラム》

- ゲスト卓話
洋画家 小山 利枝子様

《3月29日のメニュー》

- 11枠弁当箱使用
 - ・桜エビかき揚げ
 - ・肉豆腐・焼き魚・山掛け・もずく酢・浸し豆・温玉・佃煮・漬物
 - ・和風サラダ
 - ・白玉あんこ
 - ・御飯・味噌汁

＝次週例会予告＝

《4月5日のプログラム》

- クラブフォーラム